

交換留学報告書

派遣先	
学年(出発時)	3年
大学名	ハイデルベルク
国	ドイツ
留学期間	2015. 3. 1~2016. 2. 17
派遣先での身分	交換留学生

一日の生活スケジュール(通学時)	
	記入欄
8:00	
9:00	
10:00	授業
11:00	授業
12:00	タンデム、昼食
13:00	
14:00	
15:00	
16:00	授業
17:00	授業
18:00	タンデム
19:00	タンデム、夕食
20:00	
21:00	帰宅
22:00	
23:00	
0:00	

履修科目				
科目名	時間数/週	履修単位	使用言語	授業内容(レポート、試験、授業形態等)
ドイツ語準備コース	20	2	ドイツ語	プレゼン、試験
ドイツ語コース	8	2	ドイツ語	プレゼン、試験
ドイツ語コース	4	2	ドイツ語	試験
読解、作文	2	2	ドイツ語	試験、ゼミ
クリエイティブ・ライティング	2	2	ドイツ語	宿題、ゼミ
言語学、音声学	2	2	ドイツ語	試験、口頭試験、聴講、ゼミ
ドイツの歴史	2	2	ドイツ語	試験、聴講
プログラムを用いた語学練習	2	2	ドイツ語	レポート、パソコンのプログラムで練習

大学のサポート	
チューターの有無	あり
チューターのサポート内容	口座開設、保険の申し込みなど手続きの補助
語学コースの有無	あり
コース名、料金、期間等	無料、通年

生活	
住居のタイプ	寮
住居の名前	Europahaus 2
部屋タイプ	一人部屋
ルームメイト(国籍)	チリ、ドイツ、フランス、スペイン、アメリカ、台湾
室内設備	勉強机、本棚、クローゼット、ベッド、暖房
共用施設	キッチン、バス・トイレ、
インターネット設備	あり
大学までの交通手段(交通機関、所要時間)	徒歩 20分
アルバイトの有無	あり
アルバイトの内容	商品陳列、管理

渡航	
Visaの種類	学生visa
Visa申請先	外国人局
Visa取得にかかった日数	二週間ほど
Visa取得にかかった費用	50ユーロ
Visa取得方法、提出書類等	貯金残高の証明、保険の証明、住民票
留学先大学の最寄り空港までの経路	関空→トルコ→フランクフルト、フランクフルト→ドバイ→関空
渡航費用	16万円
ピックアップサービスの有無	あり

帰国後	
留年や卒業の遅れの有無	あり
有る場合、その理由	希望職種の就職活動に間に合わないため
就職活動開始時期	一年後
帰国後の進路	

留学にかかった費用	
現地通貨＝日本円(約)	1ユーロ＝135円
保険料(海外旅行保険、国民健康保険等)	80ユーロ/月(ドイツ)、
学費(教科書代や語学コース授業料等)	教科書代 60ユーロ
宿舍費(月額)	195ユーロ 光熱費込
光熱費(月額)	
食費(月額)	200ユーロ
その他	
留学期間中にかかった費用の合計	170万円

感想等(※800字以上で語学勉強の成果についての内容も含め、ご記入ください。)

日本で文法は一通り学習済みであったが、話す機会がなかったため、渡独直後は会話にとっても苦労した。3月の語学準備コースは、筆記試験の結果想像以上にレベルの高いクラスになり、大変な思いをしたが、毎日4時間の授業を受けた結果一か月で大幅に語学力がアップした。4月に学期が始まってからは、週8時間の語学コースや大学での授業に加え、日本語学科の学生と語学を教え合ったり、課題をサポートしたりし合うタンデムを毎日行い、常にドイツ語を使う努力をした。

日本語学科主催の交流会などには積極的に参加し、そこで様々な人に知り合うことができた。ドイツ人はもちろんのこと、留学や仕事のために在住している日本人はとて志が高く、たくさんの刺激を受けた。また、2年前に三重大学でのドイツ語サマーコースに参加していた友達とも再会することができ、その友人を通じて新たな輪が広がった。

5月から帰国までの10か月間、日本人観光客向けの土産店でアルバイトをした。従業員の方がみな日本人であるためドイツ語を使う機会が少なかったのは残念であるが、目上の方と話す中で興味深い話を聞くことができ、自分の将来について考えるきっかけにもなった。

ドイツはヨーロッパの中ほどに位置しているため、他の国への旅行もしやすい。せっかくの機会なのでいろいろな国を見ることができよかった。しかし、留学しているこの期間にしかできないことをやりたい、留学を「楽しかった」という感想だけで終わらせたくないという気持ちが以前から強かったため、日本を出発する前に目標にしていたプラクティウム(実習)を行った。学生なので旅行ばかりする経済的余裕もなかったし、長期休暇は時間もある、そして何より学生以外の人と関わりながら常にドイツ語に触れられる絶好の機会であった。動物愛護とオーガニックに興味があったため動物愛護施設と、オーガニック商品を扱う農場のパン工房とでそれぞれ二週間ずつ仕事を体験した。直接会社にメールを送る際には、タンデムパートナーをはじめ本当にたくさんの人にお世話になった。どちらの仕事も朝が早く、また、パン工房は住み込みだったため大変なことはたくさんあったが、どちらの職場でも素敵な人たちに恵まれよくしていただき、とてもよい経験ができた。楽しかっただけではなく、多くのことを学びますます興味が深まった。そこでお世話になった方たちとは今でも連絡を取り合っている。

プラクティウムで授業のない夏休み期間中もドイツ語を使っていたおかげか、休み明けのテストの結果、後期の語学コースでは一番上のクラスに入ることができた。ここでも周りとの差を非常に感じづらくなったことも多々あったが、タンデムパートナーたちに協力してもらい半年間頑張った。最後のテストでは、満足のいく結果を得ることができた。

この一年間は本当に早く過ぎたように感じる。ドイツ語力の向上はもちろんのこと、諦めないこと、積極的なること、動じないことなど精神的にも大きく成長できた。また、家族や先生、友達、知らない人まで本当に多くの方々に支えられ、ありがたみを感じた一年でもあった。

もちろん大変なこともあったが、海外で暮らしたという経験、ハイデルベルクでの一年間の生活の全てがプラスである。この一年で得たものをこれからの糧にし、今後活かしたい。

今後留学する人へのアドバイス

何事にも積極的になる
最後まで諦めない
人と比べない
多くの人と知り合い人脈を広げ、それを大事にする
人に頼るときは頼る
言葉がわからなくても伝えようという努力をする
質問をたくさんする
楽しむ
留学しているときにしかできないことをする
自分で決断する
感謝する

報告書記入日

2016. 2. 24